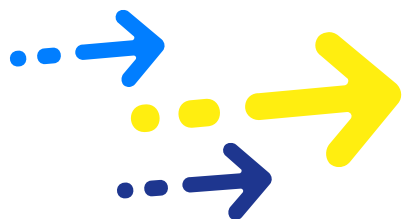


ACCD Action 2026

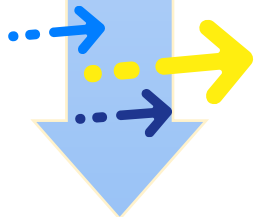


検討のプロセス

分析
⊕

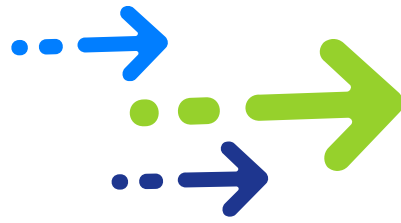
戦略立案
⚙️

アクション！



1. **分析**：ACCDの強み・可能性・課題を把握する。
 - ・ 調査結果と有識者（リソースパーソン）へのヒアリングを組み合わせ、ACCDの現状を把握した。
2. **戦略立案**：「行動方針（Action Policies）」の策定。
 - ・ 分析を踏まえ、共通の目標達成に向けた今後の活動を導く基本原則を検討した。
3. **次のアクション**
 - ・ 行動方針に基づき実行できること・すべきことを検討し、APCCフォーラムでの協議を経て確定した。

ACCD Action 2026



<アクション1>

- 「ワーキンググループ（WG）」を設置し、署名都市のニーズに応えるとともに、ACCD各自治体を強化する。

<WG1> ベストプラクティスWG（BP-WG）

発掘と標準化

アジア各地のベストプラクティスを集め、比較可能な統一フォーマットで文書化する。

初年度の成果物

簡潔な「ACCDベストプラクティス集」を作成する。

マイルストーン：2027年9月

APCCフォーラムで「アジア循環型都市アクション50」を選定・表彰する。

<WG2> ソリューション・マッチング／共創WG（SMC-WG）

マッチングと共創

都市のニーズを企業の技術・サービスと結びつける。

初年度の成果物

民間企業との連携手順（プロトコル）を整備する。

マイルストーン：パートナー10社

「ACCDパートナー」として民間企業を10社以上募る。

<WG3> 進捗トラッキングWG（PT-WG）

枠組みの策定

ACCD都市に適した指標とデータ収集方法について合意する。

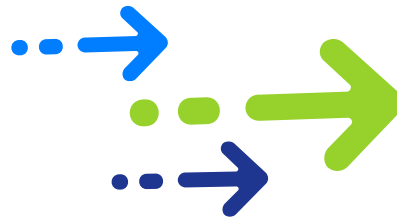
初年度の成果物

指標とすぐに使えるデータ様式を備えた初期の進捗管理枠組みを作成する。

マイルストーン：研修の実施

研修カリキュラムを整備し、署名都市向けにオンラインまたは対面で1～2回のセッションを実施する。

ACCD Action 2026

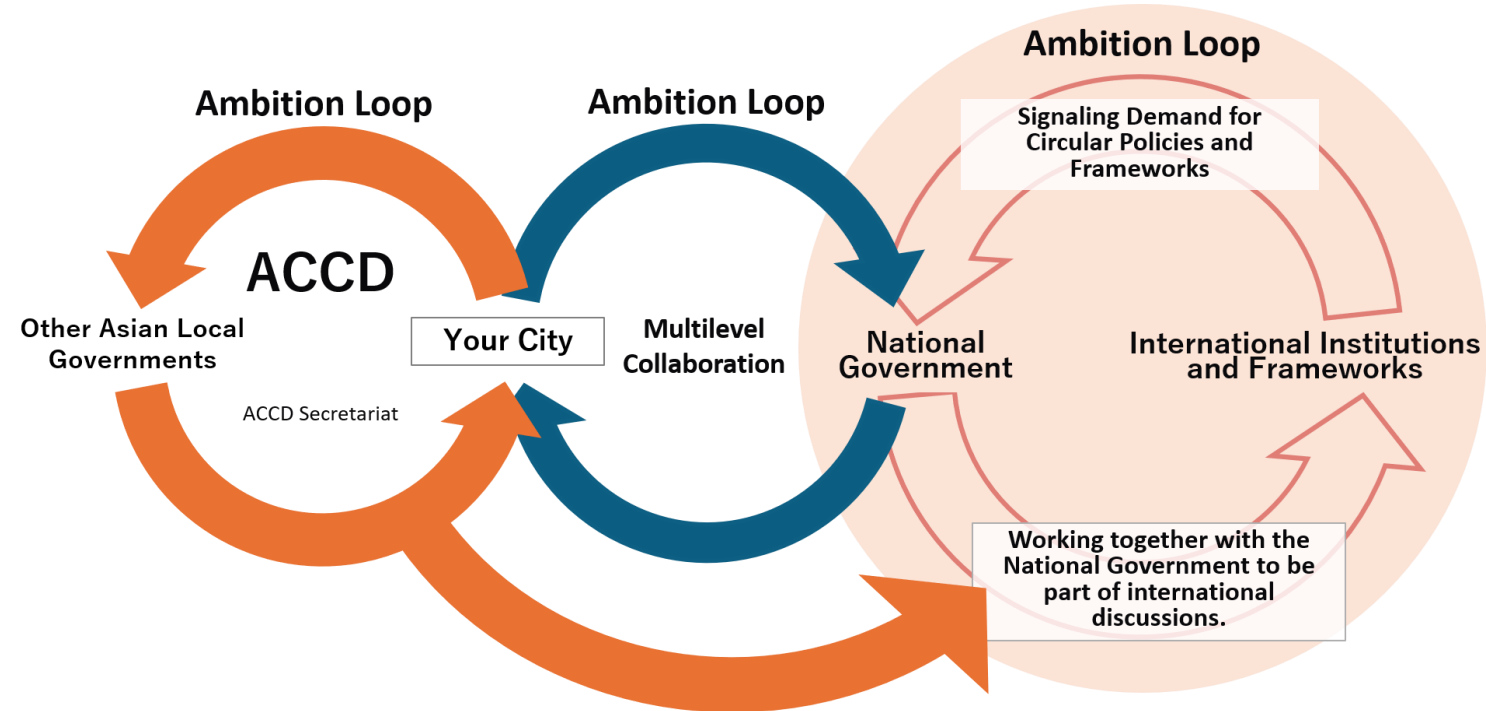


<アクション2>

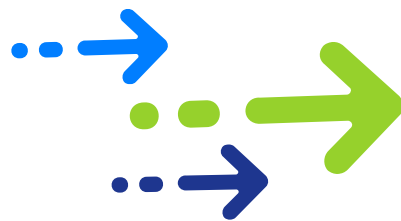
➤ ACCDを、各国政府や国際機関に良い影響を与える**地域の中核的イニシアティブ**として位置づける。

□ACCDは以下に取り組む：

1. 多層的な連携と国際的な関与を通じて、野心の連鎖（アンビション・ループ）を生み出す。
2. ACCD署名都市に機会を創出する。
3. CCD Europe（欧州の循環型都市宣言）など他の組織と積極的に連携し、ACCDの機能と活動を強化する。



ACCD Action 2026



<アクション3>

➤ **ACCDと事務局機能を拡大・強化し、ACCD各自治体の機会をとらえ、活かす。**

□ACCDは以下に取り組む：

1. より多くの都市にACCDへの参加を呼びかける。
2. ACCDの強化に資するプログラムや事業に向けて、国際機関や財団（フィランソロピー）に積極的に働きかける。
3. 機会をさらに広げるため、民間企業を巻き込む仕組み（ACCDパートナー）を検討する。
4. 報告書を公表する。



ACCD
署名都市
43都市

82,615,000
総人口

出典：
神戸市公式ウェブサイト
インドネシア中央統計局（BPS）／チルボン市
Citypopulation
World Population Review
フィリピン共和国 政府ウェブサイト
ネパール政府 首相府・閣僚評議会 国家統計局
ウェブサイト
ウィキペディア